

宮陵会報 2008・8

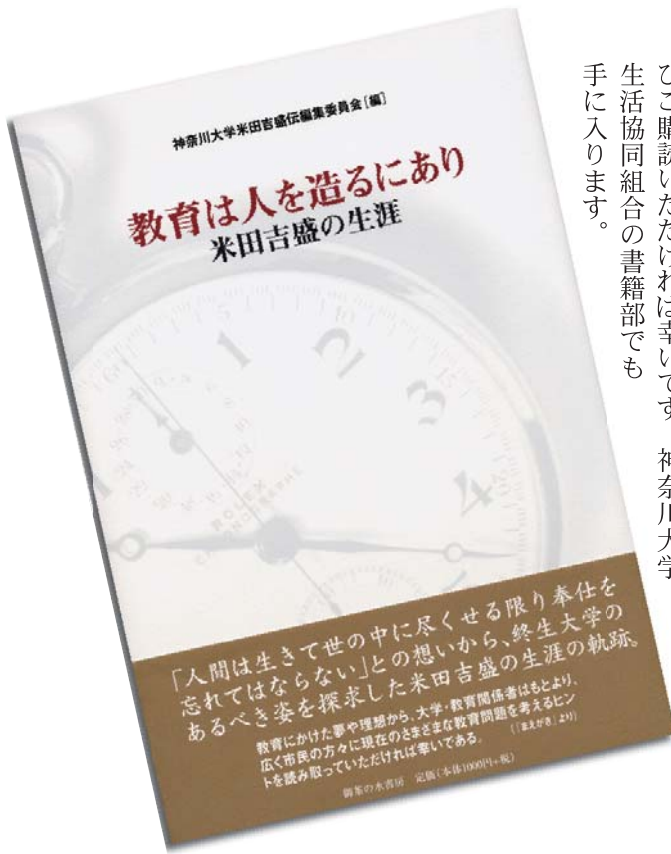
Kyu-Ryo

No.86

発行責任者
 社団法人 宮陵会
 広報委員会

〒221-0802
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 (内線 2451~3)
 FAX 045-413-0791
 印刷所 株式会社 江森印刷所

創立者伝記出版



「教育は人を造るにあり」

米田吉盛の生涯

大学の創立80周年記念出版として、母校神奈川大学創立者の伝記「教育は人を造るにあり」米田吉盛の生涯」が出版されました。この出版は、同伝記編集委員会の編によりお茶の水書房から出版されたものです。

「人間は生きて世の中に尽くせる限り奉仕を忘れてはならない」

との想いから、終生大学のあるべき姿を探求した先生の生涯の軌跡です。「教育にかけた夢や理想から、大学・教育関係者はもとより、広く市民の方々に現在のさまざまな教育問題を考えるヒントが伝えられています。この図書は、全国の書店にて定価千円で販売されていますのでぜひご購入いただければ幸いです。神奈川大学生活協同組合の書籍部でも手に入ります。

Contents No.86

平成20年度第1回代議員会・通常総会開催される	2
平成20年度通常総会で表彰を受けた方々	3
平成19年度事業報告および平成20年度事業計画について	3
平成19年度事業報告・平成20年度事業計画	4
会費納入について	4
平成19年度収支計算書・平成20年度収支補正予算書	5
本部だより	6
支部だより	7・8

平成二〇年度 第一回 代議員会・通常総会開催される

〈第一回代議員委員会〉

第一回代議員会は、平成二十年五月二十五日開催され、総数三八一名中二九〇名(委任状出席一七一名を含む)の出席のもと、有効に成立要件を満たし開会された。

議案は、第一号議案、平成十九年度収支決算報告に関する件、平能孝一専務理事より事業報告について、続いて今田正紀財政委員会委員長より収支決算についての説明がされた。収支決算については、今年度より新公益法人会計に基づいて財務諸表を作成しているため、前年度とは大幅な変更があり、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録で構成されていること、その内容が正味財産の増減の状況を表すことが大きな目的となっていること等を含めた説明がされた。次いで、渡邊武監事が監査報告を行い、議案審議に入った。質疑に入り、代議員より、宮陵会定款変更がされたが、法律の変更に伴う箇所があれば教えて

いただきたいということ、また、公益法人としての宮陵会の今後の方向性等について質問が出された。これに対して執行部から、公益法人制度の改革に伴い、準備段階として定款変更を行った。平成二十年度中に法律の施行、移行期間は五年以内でその間に、公益社団法人が一般社団法人を選択しなければならぬ。公益法人の場合は認定の問題もあるので、今後、会員の意見を伺い、具体的な検討を行っていきたくとした。以上の質疑の後、採決の結果、賛成多数をもって平成十九年度収支決算報告に関する件は原案どおり可決、承認された。第二号議案、平成二十年補正予算に関する件が諮られ、平能孝一専務理事より事業計画について説明がされ、次いで、今田正紀財政委員会委員長より、平成十九年度決算が確定したことによる数値の変更、公益法人会計基準の変更に伴う科目修正等の補正予算について説明の後、議案の審議に入った。特に質疑はなく、採決の結果、賛成多数をもって平成二十年補正予算に関する件は原案どおり可決、承認された。

同日、代議員会終了後に開催された通常総会には、正会員一〇一、七三一名中二、七三一名(委任状二、五六二名を含む)の出席のもと、定款第三五条の規定に基づき有効に成立し、議長に磯邊晃氏、副議長に大澤武法氏が選任され開会された。

〈通常総会〉

会長狩野七郎より、「今回は一般会員の方にも代議員会から傍聴いただき、総会での議案説明を簡略化するという方法を試みました。さて、昨年は本会の設立七〇周年行事を盛大裡に終了することができました。昨年度から、周年行事のための委員会をはじめ四つの特別委員会を設けました。現在も法人格等検討、ブロック組織等、企画の三つの特別委員会が活発な活動を行っております。また、本年は神奈川県立八〇周年を迎え、たいへん格調高い将来構想が発表になりました。本

会としても、神奈川県立八〇周年記念キャンペーン整備事業募金として、一億を寄付することとし、寄付金は二年に分け、本年度は五千万円の予算を計上しています。今後も、本会の発展と大学の発展を同時に考えながら進めたいと思っています。」との挨拶がされた。議案の審議に入り、第一号議案、平成十九年度収支決算報告に関する件については、平能孝一専務理事が事業報告、今田正紀財政委員会委員長が収支決算について説明がされた。収支決算については、今年度より新公益法人会計に基づいて決算書を作成したことにより、財務諸表体系が大幅に変更となった。貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録で構成、その内容が正味財産の増減の状況を表すことが大きな目的となっていること、いまままで固定資産に計上していた積立金を特定資産として正味財産に計上したことにより、正味財産が増加したこと等を含めた説明がされた。次いで、三繩昭男監事が監査報告を行い、議案の審議に入った。質疑に入り、会員より、①議案書は事前に送付願いたい。②通常総会の議案の審議の場にも、大学関係者の方々の列席いただく。③ホームカミングデーで参加費を徴収する。また、同窓会等を同日に開催するような企画をお願いしたいとの意見が出された。これに対して執行部は、①予算に関しては、会誌に概要を掲載する等しているが、決算状況については現状では時間的に困難である。事前資料の作成については、今後、検討していきたくしたい。②要望として承る。③ホームカミングデー等の参加費徴収については、



大学との協議が必要であり、検討していきたくしたい。また、当日、同窓会を開催する場合は教室等の開放は現在行っている。さらに大学との連携のなかで広報していきたくしたいとの回答がされた。質疑の後、採決の結果、賛成多数をもって平成十九年度収支決算報告に関する件は原案どおり可決、承認された。第二号議案、平成二十年事業計画及び収支予算に関する件、平能孝一専務理事より事業計画、今田正紀財政委員会委員長より収支予算について説明がされた後、議案の審議に入った。特に質疑はなく、採決の結果、賛成多数をもって平成二十年度事業計画及び収支予算に関する件は議案どおり可決、承認された。議案の審議に続いて、そのほかの意見を徴したところ、会員より、①議案の説明方法について分かりやすい説明をお願いしたい。②議案書の「平塚キャンパス」と修正するとの意見が出された。これに対して執行部は、要望として承るとした。

平成20年度通常総会で表彰を受けた方々

【功労表彰(表彰規程第2条第2号該当)】

- ◆本部関係
 - 下山 貞明 氏
昭和23年経済科卒業
元副会長・理事・代議員会議長
- ◆支部関係
 - 畠山 榮 氏
昭和31年工学部機械工学科卒業
元静岡東部支部支部長
 - 伊勢福 讓 氏
昭和33年法経学部経済学科卒業
元防長官陵会支部支部長・副支部長

【感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)】

- ◆本部関係
 - 田中 繁男 氏
昭和35年法経学部法学科卒業
元理事
 - 小坂谷 義夫 氏
昭和41年法学部法律学科卒業
元理事
 - 佐藤 智久 氏
昭和42年法学部法律学科卒業
元財政委員長
- ◆支部関係
 - 水島 俊一 氏
昭和17年法学科卒業
元静岡西部支部役員
 - 田邊 信好 氏
昭和34年法経学部法学科卒業
元兵庫支部支部長・副支部長
 - 木内 宗吾 氏
定款第5条第1号ハ正会員
元福岡支部運営副委員長・広報担当部長・西戸崎地区長
 - 高村 昭輝 氏
昭和24年法政科卒業
元福岡支部推進委員長・久留米地区長

- 福田 靖 氏
昭和33年法経学部経済学科卒業
元福岡支部事務局長・会計担当
- 太田 能史 氏
昭和35年工学部工業経営学科卒業
元福岡支部事業企画委員会(書記担当)・中央区地区長
- 松元 勲 氏
昭和36年法経学部経済学科卒業
元福岡支部事業企画副委員長(会勢拡大担当)・糟屋地区長
- 藤崎 洋三 氏
昭和33年法経学部経済学科卒業
元熊本支部支部長・副支部長・理事
- 堤 章彦 氏
昭和40年法経学部経済学科卒業
元大分支部理事・常任理事・事務局長・監事
- 佐久間 恒雄 氏
昭和28年法経学部外国貿易科卒業
元相模原支部副支部長
- 岡野 一雄 氏
昭和31年法経学部経済学科卒業
元相模原支部支部長・幹事
- 鈴木 正行 氏(故人)
昭和27年法経学部外国貿易科卒業
元南足柄支部支部長
- 伊藤 洋 氏
昭和46年工学部建築学科卒業
元柔道部OB会支部支部長

【特別表彰(表彰規程第2条第4号該当)】

- ◆本部関係
 - 種田 恵 氏
経済学部経済学科4年
北京五輪の競泳女子日本代表

平成一九年度事業報告および平成二〇年度事業計画について

平成一九年度事業報告としては、事業計画に基づき実施し計画どおりに事業を遂行した。特に本会設立七〇周年記念事業と全国支部長会議の開催があげられる。また、収支決算書の概要としては、収入の部では、正会員からの会費に維持会費の導入と準会員会費の増収等により予算対比一、二一六万円の増収となった。

正会員の会費収入は、一八・一九年度決算対比では実に一、二五五万円増収となった。会員のご理解とご協力に深く感謝する。支出の部では、事業経費の抑制に努めた。特別給付奨学金支出は、大学の新たな奨学金制度の新設が見送られたため減額し、広報費は郵送料約一〇万件を確保しつつ経費の軽減に努めた。設立七〇周年記念事業費もできる限りの節減を図った。組織費については、組織の活性化を推進して地方支部の支援ならびに新支部の結成などへの支援で、活発な支部活動の結果、支出増となった。全体としては事業活動の予算対比一、四五七万円の支出減となり、二〇年度への繰越金は三、〇七三万円となった。

平成二〇年度事業計画は、神奈川大学の進展と維持に必要な援助として、大学創立八〇周年記念事業の協力を本年度新たに掲げた。大学の八〇周年記念事業計画は、湘南ひらつかキャンパスに情報教育教室や小ホールを擁する新棟を建設する資金ならびに横浜キャンパスのグラウンド人工芝整備工事などを主とした創立八〇周年記念事業募金に対して、本会から総額一億円の寄付をするものである。予算としては、二〇年度に五千万円、二一年



度に五千万円を執行する。次に会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に附随する事項としては、組織の拡充に重点をおき、企画特別委員会ならびにブロック組織等特別委員会を中心に中国ブロック・東海ブロックの組織化、神奈川県内の組織化のなかでも横浜市内の区支部組織化の活動に併せた組織費の増額予算とした。また、準会員(在学生)の経済的困窮者に対する本会独自の貸与奨学金制度に対して、その原資を補強するため二〇年度一般会計から特別奨学金会計へ一千万円を繰り入れる。また、過年度の貸与奨学金未回収金については、督促業務を法律事務所に委託して回収を促進する。

平成19年度事業報告書

(一) 代議員会

- 1 日時 平成19年5月27日(日) 10:30~
- 場所 神奈川大学16号館 セレストホール
- 議案 第1号議案 平成18年度収支決算報告に関する件
- 第2号議案 平成19年度補正予算に関する件
- 第3号議案 役員の選任に関する件
- 2 日時 平成20年3月9日(日) 13:30~
- 場所 神奈川大学16号館 セレストホール
- 議案 第1号議案 平成20年度事業計画及び収支予算に関する件

(二) 通常総会

- 日時 平成19年5月27日(日) 13:30~
- 場所 神奈川大学16号館 セレストホール
- 議案 第1号議案 平成18年度収支決算報告に関する件
- 第2号議案 平成19年度補正予算に関する件
- 第3号議案 代議員の選任に関する件
- 第4号議案 役員の選任に関する件

表彰

(三) 事業内容

- 1 神奈川大学の進展と維持に必要な援助
 - (1) 大学公開講座の協賛
 - (2) ホームカミングデーの協賛
 - (3) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
 - (4) 卒業祝賀パーティーの共催
 - (5) 奨学金の給付及び貸与
 - イ 在学生を対象として、人物・学業ともに優秀な者への奨学金の給付(800万円)

- 大学院 13名 総額 5,000,000円
- 学部 11名 総額 3,000,000円
- 特別給付奨学金(2,700万円)
- 課外活動支援特別給付奨学金 24,000,000円
- 特定給付奨学金(課外活動特別奨学金) 3,000,000円
- ハ 在学生を対象として、経済的援助を行うための奨学金の貸与(68件 18,476,000円)
- (6) クラブ活動等援助及びスポーツ大会等開催、体育の振興
 - クラブ活動等に対する援助(56団体)
 - ブロック別ふるさと懇談会・交流祭・スポーツ大会等
 - ハ 新入生歓迎地引網・バーベキュー大会(湘南ひらつかキャンパス)
- ニ 体育の振興のためのOB指導者に対する交通費援助等
- (7) 新入生へ記念品の贈呈(校歌 コンパクトディスク)
- (8) 新卒業者へ記念品の贈呈(CD-ROM)=大学と共催
- 2 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項
 - (1) 会誌56号、会報84・85号、新入生特集号の発行
 - (2) 設立70周年記念事業式典の開催
 - (3) 全国支部長会議の開催
 - (4) 会費納入の促進
 - (5) 北海道ブロック・東北ブロック・北陸ブロック・近畿ブロック・四国ブロック・九州ブロック会への参加、支部等の活動費助成
 - (6) 支部設立及び再建支援
 - (7) 神奈川大学VISAカードの入会促進及び提携店拡大
 - (8) その他目的達成に必要な事業を実施

平成20年度事業計画

1. 神奈川大学の進展と維持に必要な援助

- (1) 大学創立80周年記念事業の協力
- (2) 大学公開講座の協賛
- (3) ホームカミングデーの協賛
- (4) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
- (5) 奨学金の給付及び貸与
 - ① 給付奨学金
 - ② 特定奨学金
 - ③ 特別給付奨学金
 - ④ 貸与奨学金
- (6) クラブ活動等援助及び講演会・スポーツ大会等の開催、体育の振興
- (7) 卒業祝賀行事の共催

- (8) 新入生へ記念品の贈呈(校歌CD)
- (9) 新卒業者へ記念品の贈呈(CD-ROM=大学と共催)
- 2. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項
 - (1) 財政基盤の確立
 - (2) 組織の拡充(ブロック会、支部との連携並びにブロック会、支部の設立及び再建支援)
 - (3) 会誌・会報の発行
 - (4) 会費納入の促進
 - (5) 「神奈川大学校友VISAカード」の入会促進及び提携店拡大
 - (6) その他の目的達成に必要な事業

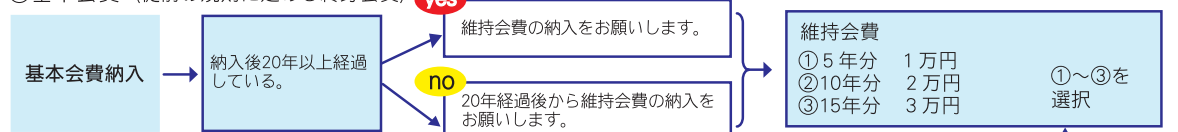
会費納入について

社団法人宮陵会定款施行規則

- (会費)
- 第2条 定款第6条の会費は、次のとおりとする。
- (1) 正会員の会費は、年会費、基本会費、維持会費及び終身会費とする。
- ア 年会費は、3,000円とし、毎年納入する。
- イ 基本会費は、30,000円とし、一時に納入する。
- ウ 維持会費は、基本会費を納入した正会員の21年目以降の会費をいい、年2,000円とし、5年分の維持会費10,000円、10年分の維持会費20,000円、若しくは15年分の維持会費30,000円のいずれかを一時に納入する。但し、卒業後55年を経過した者は、免除する。
- エ 終身会費は、90,000円とし、一時に納入するものとする。但し、基本会費と維持会費の累積額90,000円に達した時は、終身会費を納入したものとす。

- (2) 準会員は、在学期間を通じて25,000円とする。
- (3) 本条第2号に定める会費を、準会員が在学期間内に全額納めたときは、本条第1号に定める基本会費を納入したものとす。
- 附則(経過規定)
- 第1条 改正規則施行前に、従前の規則に定める終身会費又は年会費を20年以上納入していた正会員は、改正規則の定める基本会費を納入したものと見なす。
- (施行日)
- 第2条 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

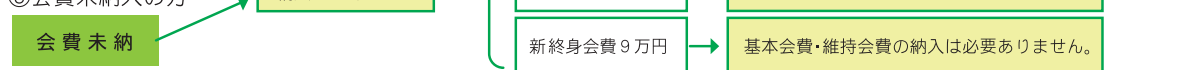
①基本会費(従前の規則に定める終身会員)



②年会費



③会費未納入の方



平成20年度 収支補正予算書

平成20年 4月 1日から平成21年 3月31日まで

(一般会計)

(単位:円)

科 目	予算額	補正額	補正予算額
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	2,000,000		2,000,000
基本財産利息収入	2,000,000		2,000,000
②会費収入	108,350,000		108,350,000
正会員会費収入	10,350,000		10,350,000
準会員会費収入	98,000,000		98,000,000
③雑収入	600,000		600,000
受取利息収入	200,000		200,000
雑収入	400,000		400,000
事業活動収入計	110,950,000	0	110,950,000
2 事業活動支出			
①事業費支出	157,824,000		157,824,000
大学主催事業協賛費支出	5,900,000		5,900,000
給付奨学金支出	8,000,000		8,000,000
特別給付奨学金支出	27,000,000		27,000,000
学生課外活動援助等支出(クラブ活動等助成費)	6,000,000		6,000,000
学生課外活動援助等支出(特別事業費)	3,055,000		3,055,000
学生課外活動援助等支出(体育振興費)	2,399,000		2,399,000
学生課外活動援助等支出(入学卒業関係費)	6,315,000		6,315,000
組織費支出	13,802,000		13,802,000
婦人会員特別事業費支出	190,000		190,000
広報費支出	33,663,000		33,663,000
事業諸費支出	1,500,000		1,500,000
神奈川大学80周年記念寄付金支出	50,000,000		50,000,000
②管理費支出	21,742,000		21,742,000
給料手当支出	5,850,000		5,850,000
派遣事務費	3,960,000		3,960,000
臨時雇用賃金支出	1,450,000		1,450,000
福利厚生費支出	880,000		880,000
慶弔費	900,000		900,000
会議費支出	1,430,000		1,430,000
旅費交通費支出	100,000		100,000
通信運搬費支出	1,157,000		1,157,000
消耗什器備品費支出	200,000		200,000
消耗品費支出	1,200,000		1,200,000
印刷製本費支出	2,884,000		2,884,000
賃借料支出	500,000		500,000
委託費支出	900,000		900,000
雑支出	331,000		331,000
事業活動支出計	179,566,000	0	179,566,000
事業活動収支差額	△68,616,000	0	△68,616,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
特定資産取崩収入	50,000,000		50,000,000
神奈川大学80周年記念寄付金事業取崩収入	50,000,000		50,000,000
投資活動収入計	50,000,000	0	50,000,000
2 投資活動支出			
①特定資産取得支出	400,000		400,000
奨学金積立支出	400,000		400,000
②他会計への繰入金支出	10,000,000		10,000,000
奨学金運用会計への繰入金支出	10,000,000		10,000,000
投資活動支出計	10,400,000	0	10,400,000
投資活動収支差額	39,600,000	0	39,600,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
予備費支出	15,236,972	△13,519,068	1,717,904
当期収支差額	△44,252,972	13,519,068	△30,733,904
前期繰越収支差額	44,252,972	△13,519,068	30,733,904
次期繰越収支差額	0	0	0

平成19年度 収支計算書

平成19年 4月 1日から平成20年 3月31日まで

(一般会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	1,200,000	2,845,849	△ 1,645,849
基本財産利息収入	1,200,000	2,845,849	△ 1,645,849
②会費収入	109,200,000	128,788,000	△19,588,000
正会員会費収入	12,700,000	19,433,000	△ 6,733,000
準会員会費収入	96,500,000	109,355,000	△12,855,000
③雑収入	1,000,000	933,099	66,901
受取利息収入	400,000	94,100	305,900
雑収入	600,000	838,999	△ 238,999
事業活動収入計	111,400,000	132,566,948	△21,166,948
2 事業活動支出			
①事業費支出	117,971,000	107,279,556	10,691,444
大学主催事業協賛費支出	5,900,000	5,400,000	500,000
給付奨学金支出	8,000,000	8,000,000	0
特別給付奨学金支出	31,000,000	27,000,000	4,000,000
学生課外活動援助等支出(クラブ活動等助成費)	6,000,000	6,000,000	0
学生課外活動援助等支出(特別事業費)	3,055,000	2,118,107	936,893
学生課外活動援助等支出(体育振興費)	2,399,000	2,266,002	132,998
学生課外活動援助等支出(入学卒業関係費)	7,310,000	6,687,350	622,650
組織費支出	10,778,000	11,834,736	△ 1,056,736
婦人会員特別事業費支出	619,000	19,982	599,018
広報費支出	33,410,000	31,181,299	2,228,701
事業諸費支出	1,500,000	635,955	864,045
設立70周年記念事業費支出	8,000,000	6,136,125	1,863,875
②管理費支出	23,193,000	19,308,417	3,884,583
給料手当支出	11,578,000	10,052,104	1,525,896
派遣事務費	0	3,026,240	△ 3,026,240
臨時雇用賃金支出	1,450,000	199,200	1,250,800
福利厚生費支出	1,640,000	1,073,058	566,942
慶弔費	900,000	754,060	145,940
会議費支出	1,510,000	1,434,563	75,437
旅費交通費支出	30,000	30,081	△ 81
通信運搬費支出	1,090,000	679,430	410,570
消耗什器備品費支出	200,000	0	200,000
消耗品費支出	1,200,000	313,714	886,286
印刷製本費支出	2,425,000	631,218	1,793,782
賃借料支出	500,000	560,601	△ 60,601
委託費支出	300,000	252,000	48,000
雑支出	370,000	302,148	67,852
事業活動支出計	141,164,000	126,587,973	14,576,027
事業活動収支差額	△29,764,000	5,978,975	△35,742,975
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	8,000,000	19,826,900	△11,826,900
特定資産取崩収入	0	11,826,900	△11,826,900
設立70周年記念事業積立金取崩収入	8,000,000	8,000,000	0
投資活動収入計	8,000,000	19,826,900	△11,826,900
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出	4,400,000	36,102,943	△31,702,943
特定資産取得支出	0	31,789,944	△31,789,944
奨学金積立支出	400,000	312,999	87,001
設立70周年記念事業積立金支出	4,000,000	4,000,000	0
投資活動支出計	4,400,000	36,102,943	△31,702,943
投資活動収支差額	3,600,000	△16,276,043	19,876,043
III 予備費支出			
予備費支出	14,866,972	0	14,866,972
当期収支差額	△41,030,972	△10,297,068	△30,733,904
前期繰越収支差額	41,030,972	41,030,972	0
次期繰越収支差額	0	30,733,904	△30,733,904

本部だよ!

神奈川大学創立80周年

記念式典・祝賀会開催

五月一日に母校の創立八〇周年記念式典が横浜キャンパスセレストホールにおいて挙行された。記念式典には文部科学省・日本私立大学協会などの所管官庁ならびに教育関係者国際交流協定校長などのご臨席のほか、本会からも会長ほか役員と代議員が招待され四五〇人の参加のなか進められた。

式典では、はじめに大学の八〇年の軌跡が上映され、これまでの八〇年のあゆみが紹介された。ご来賓の紹介の後、白井宏尚理事長から八〇周年記念式典の核となる「神奈川大学の一〇〇周年に向けた将来構想」を発表し、これからの大学のミッション・ビジョンが示された。また、創立者米田吉盛先生の伝記を出版したことが披露された。文部科学省・教育関係団体の長の祝辞などの後、学生の混合合唱による校歌斉唱で式典の幕を閉じた。

式典終了後は、祝賀会場である体育館に席を移して、国内外の関係者約一千名の参加を得て華やかに開会された。ご来賓と主催者により大きな樽酒を揃いの神大法被の皆様方とめでたく鏡開きが行われ、乾杯の発声は、本会会長の狩野七郎が高らかに杯を上げて賑やかに祝賀会が開始された。

八〇周年を祝う卒業生の和やかな輪をフラメンコダンスや学生のジャズ演奏が華を添え祝賀会は成功裡にその幕を閉じた。

平成20年度 スポーツ課外活動支援 特別奨学生の採用決まる

去る五月二十六日、神奈川大学一六号館にて、奨学生交付式が行われ、平成二〇年度は新規に左記の三名が奨学生として採用されました。

●硬式野球部所属 浦川 綾人

人間科学部 人間科学科一年

横浜高校出身 大型左腕投手

●硬式野球部所属 小暮 一真

人間科学部 人間科学科一年

埼玉県立富士見高校出身

大型の強肩・強打 捕手

●陸上競技部駅伝チーム所属 坪内 武史

人間科学部人間科学科一年

西武台千葉高校出身 三〇〇〇m障害競

走関東大会優勝全国高校ランキング二位

の実績をもつ期待の新人。

これまで採用の奨学生に続き、それぞれの部門においてこれからの活躍が期待されます。

親子三代の宮陵会員募集!!

宮陵会は平成19年に設立70周年を迎え、親子三代にわたり会員としてご活躍されているご家族3組に感謝状をお贈りいたしました。

今後も、三世代が校友という会員の情報の把握につとめていきます。

つきましては、自薦他薦を問いませんので、事務局までお知らせいただけますようお願い申し上げます。



ホームカミングデー 開催のお知らせ

第一四回横浜キャンパスホームカミングデーは、一〇月一九日(日)一二時三〇分から横浜キャンパス体育館において開催されます。本年の招待卒業生は、昭和三十三年三月卒、同四八年卒、同六三年卒、平成一〇年三月卒として本年三月卒業生の皆様です。ご招待の皆様には、九月に大学総務部総務課から案内状が送られます。なお、クラス会・同期会などを当日企画される場合は、大学の総務部総務課へ事前にご相談ください。

湘南ひらつかキャンパスのホームカミングデーは、一〇月二六日(日)午後一二時三〇分(予定)から本年のメインゲスト平成二〇年三月卒業生を主に開催予定です。この日は平塚祭の最終日になりますから学生のイベントを見学しながらご来場ください。来年は湘南ひらつかキャンパスが開設二〇周年を迎えます。

それぞれのキャンパスでの大学祭では、会場内の特設テントで本会会員のご来場者受付を設営しています。全国の支部からの話題提供やみかんなど無料で贈呈する計画です。この機会に大学へ足を運び会員と准会員の交流を図りませんか。

岩手・宮城内陸地震 被災支部へお見舞い

去る六月一四日に発生した地震で罹災された卒業生会員の皆様には、お見舞い申し上げます。

在学生の准会員は、この地域に実家のある四〇数名に対して大学からお見舞いの品ならびに授業料の減免措置が実施されます。

新支部紹介(再建)

津久井支部
(平成20年4月25日理事会承認)
支部長 31機 吉野 久夫

新支部長紹介

静岡東部支部 41賀 田中 輝朗
南足柄支部 26電 安藤 力
茨城支部 34機 桜田 寿一

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

東 保憲 殿
元神奈川大学外国語学部 教授
平成19年11月25日逝去
桐谷 維 殿
元神奈川大学経済学部教授
平成20年2月25日逝去

Kyu-Ryo No.57 訂正について

Kyu-Ryo No.57に誤りがありましたので、次のように訂正させていただきます。関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

- P 7 大学のさらなる発展とネットワークとしての宮陵会
理事 西森秀明
- 3 段目 私事で恐縮であるが、私は大学在学中の⇒大学在職中
- 4 段目 〔註〕人口の動態の数値は⇒人口動態の数値は
- P 39 南足柄支部事務局長 茂原栄一⇒茂原英市
- P 48~49 「神大スポーツ・文化振興会」賛助者芳名
硬式野球部 吉田昭男 昭和40経⇒吉田昭男
陸上競技部 斎藤邦彦 昭和40経⇒斎間邦彦
陸上競技部 渡辺義久 平成9経⇒マンドリンアンサンブル

支部だより

ブロック会議

■北海道ブロック会議 五月二四日(土) 札幌支部主管 京王プラザホテルにて開催、当日は大学の在学生父母の懇談会も開かれ、夕方からの懇親会は在学生父母も参加し懇親を深めた。母校の創立80周年を祝い理学部の西本右子准教授による『環境と人に優しい「水」を科学する』記念講演会を開催した。

■東北ブロック会議 一月二日(日) 岩手支部が担当し、遠野市において午後から開催予定。文化講演会などを企画中。

■近畿ブロック会議 六月一五日(日) 和歌山支部 和歌山市内ホテルにて開催

■四国ブロック会議 一月二二日(土) 高知支部 高知ロイヤルホテルにて開催予定

■九州ブロック会議 五月一七日(日) 福岡支部

■中国ブロック会設立準備会議 四月二六日(土) 岡山ホテルエクセル岡山にて 中国ブロック会の設立準備委員会が開催された。予てから五県六支部有する地区の設立の要望があったところ、会員数の多い広島支部が休眠状態であったため設立が遅れていた。本部のブロック組織等特別委員会の働きもあり、広島支部も再建の見通しがついたことから同委員会の秋田琢次委員長呼びかけで実現の運びとなった。この会議には、岡山支部部長の安東達雄氏、防長宮陵会の長谷川支部長、伯耆支部部長の谷本氏、因幡支部の松岡副支部長、島根支部の木谷事務局長、広島支部再建準備発起人会の委員長代理水野氏、他それぞれの事務局責任者が参加した。議事は、建設的な意見が相次ぎ、広島支部が再建され安定するまでの二年間の任期で、ブロック会議議長に

今後の予定

(本部へ連絡のありました支部を掲載しました)

■奈良支部総会 九月二八日(日)午後一時三〇分から 橿原観光ホテルにて

■兵庫支部総会 九月二〇日(土) 一一時三〇分から神戸駅前楠公会館にて講演会開催。講師に経営学部の石積勝教授をお招きする。演題「国際公務員(国連職員)のしごと」

■広島県支部総会 一月二九日(土)午前11時から広島市ホテルグランピアにて予定

■山形支部総会 一月一五日(土)支部設立四〇周年記念 総会 山形市内ホテル予定

■大分支部総会 九月下旬予定

支部の活躍

■三浦半島支部 六月一四日(土)横須賀市ホテルトリニティにて開催、母校の八〇周年記念講演会として講師に名誉教授の鈴木芳徳先生をお招きして「日本の大学の現状と将来像」をテーマに広く市民にも呼びかけて開催した。

■西多摩支部総会 六月二二日(土)立川グランドホテルにて支部設立一〇周年記念総会を開催。本年も昭和の森記念公園で行われる箱根駅伝予選会を他の支部とも連携して応援することを決定した。

■学内支部総会 六月二六日(木)大学教職員の卒業生支部の総会が学内八階食堂で開催され、本部に対して組織の拡充に資する寄付として、金五〇万円が贈呈された。

■京滋支部総会 六月二九日(日)京都市内新阪急ホテルにて開催

■伯耆支部総会 七月五日(土)米子 ニューアーバンホテルにて 支部設立二〇周年記念総会 ゲストスピーカーとして箱根駅伝優勝メンバーの岩原正樹氏(平11年経卒)を招いた。

兵庫支部のサッカー応援

七月六日(日)第一試合に登場した神大男子サッカー部は、中部地区代表の強豪チーム中京大学と対戦し善戦したが、再三のチャンスを得点に結び付けられず一回戦0対3で敗退した。初戦を勝ち上がれば、昨年の二回戦で対戦した流通経済大学と日本一を目差した戦いをする組み合わせであり、昨年の飯を返すと意気込んでいたが、一回戦突破ならず涙を飲んだ。大学からは、学生応援指導部をはじめ多数の応援学生が現地入りして、支部の会員ともども総勢一〇〇名の熱い声援を繰り広げた。負けてもこの応援の一体感は支部の方々にとっても久々の学生との交流に、学生時代の青春の日々を思い出すひと時となったようである。応援に駆けつけてくれた支部会員の方々は、昭19年専電卒、飯田千稔(奥さん同伴)、昭32年貿卒 上月隆弘、昭35年貿卒 柏葉 貢、昭37年機卒 田中忠彦、昭38年貿卒 大森新六、昭40年経卒 小野 守、昭40年応化卒 滝村武利、昭40年応化卒 吉村蒔子、昭41年経卒 陸井隆夫、昭47年英文卒 大谷豊司、昭53年貿卒 河野雅年、昭55年貿卒 矢野喜一郎 の皆さん。

海外で活躍する卒業生からのたより

日本は滅茶苦茶暑いようです。もう10年も日本のムンムンする夏からご無沙汰しています。こちらは快適な気候です。夜は16度昼も26度まだ私は冬布団。明日は革命記念日恒例のシャンゼリゼの軍事パレード、パリジャンはすでにバカンス シャンゼリゼ界隈はアラブの街になります。

レストランも1ヶ月休むともあります。私は居残り組です。KYURYOをみて種田 恵選手を注視していました。オリンピックにも出場、写真集の表紙を飾る等と注目しています。世界ランク3位、これはすごいです。後輩が頑張っているニュースがはいつてくると、まだまだがんばらんあかん こっちも気合もらえます。

(フランス有名料理店で創作回転寿司部門の料理長 明野友春氏53年貿易卒からの短信。)

みなとで学ぶ。未来が広がる。



受講生募集

おすすめ講座

- ・ファシリテーション入門
- ・労務管理リスクマネジメント
- ・ストレスマネジメント
- ・初歩から学ぶWord基本
- ・パーソナルカラーレッスン
- ・より良い人生を送るために
- ・災害と社会

ほか

● どなたでも受講いただけます ● 土・日や夜間の講座も充実

生涯学習・エクステンション講座

神奈川大学みなとみらい [お問い合わせ先] KU ポートスクエア
エクステンションセンター TEL.045-682-5553 FAX.045-682-5554

*ホームページから資料請求・受講申込ができます。 www.ku-portsquare.jp



熊本支部の活動

宮陵会熊本支部(支部長:中川眞澄)では、慶祝会という全国に先駆けた取り組みを行っている。慶祝会とは、支部会員で、白寿・卒寿・米寿・傘寿・喜寿・古希・緑寿・還暦・厄入・厄晴等、年祝いを迎えられる方を支部活動の中でお祝い会を実施している。また、慶祝会の前にはゴルフコンペも行っており表彰式もこの慶祝会で行っている。

同支部では、全国の各宮陵会支部も支部活動の活性化に苦慮されている中で、このような取り組みが行われるのも、『若手会員が参加できるような活発な組織体を目指したい』(中川会長)という命題のもと、毎月第三木曜日に行われている三木会(理事会)により、支部の活性化ならびに活動方針を常に意識し、討議されている結果と考えられる。また、金子事務局長を中心に、熊本支部だよりを発行

宮陵会熊本の歌

作詞・作曲:うらた剛

- 一、青空高く舞い上げれ 我らが理想熱き夢
宮面ヶ丘で培った 火の国男児の血はたぎる
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 質実剛健誓い合う
神奈川大学宮陵会熊本
- 二、酒酌み交わし語り合う 世界の平和熱き胸
プライドブルー颯爽と 一番前を走る夢
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 我らが誇り我が母校
神奈川大学 宮陵会熊本
- 三、東の空に悠々と 阿蘇の霊峰その彼方
みなと横浜思い出し 語り明かそう我が友よ
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 我らは同士また会おう
神奈川大学 宮陵会熊本

準会員ニュース

吹奏楽部

全国でも常にトップクラスの実力を持つ吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクールに37回出場し、大学の部では最多の21回金賞を受賞しています。今年度は、日本国内にとどまらず、世界進出ということでヨーロッパ(スペイン~フランス)に11月27日から12月6日に遠征を予定しています。また大会以外の活動も幅広く行っており、6月にサマーコンサート、1月に定期演奏会と2度のレギュラーコンサートの他に、大学行事での演奏、外部からの依頼による式典等での演奏や地域イベントへの出演、子供達の音楽鑑賞教室、吹奏楽の普及、振興のための企画コンサートのへの出演・協力や東京ディズニーランドや横浜開港記念みなと祭り、湘南ひらつか七夕祭り等のパレード演奏の活動も行っていきます。



ここで今年度のコンサート予定をお知らせいたしますので、みなさん、お近くの会場まで足を運んで素晴らしい演奏をお聴きください。

- ・ 9月8日(月)北見市民会館(北海道)有料地方コンサート
- ・ 9月9日(火)遠軽町総合体育館(北海道)町民無料コンサート
- ・ 9月28日(日)日本丸メモリアルパーク(横浜)無料
- ・ 11月16日(日)地域感謝祭(神奈川大学横浜キャンパス体育館)無料
- ・ 11月27日(木)~12月6日(土)スペイン~フランス(ヨーロッパ遠征)
- ・ 1月4日(日)第44回定期演奏会(横浜みなとみらいホール)

しており、支部会員へのコミュニケーションを常にとっている状況が伺える。
また、同支部の昭和四十六年法律学科卒業の浦田剛敏氏(シンガーソングライター)作詞・作曲による『宮陵会熊本の歌』を全国に先駆けて熱唱されている。浦田剛敏氏は、在学中ポピュラー音楽部ブルーシーハーワイアンに所属し音楽活動を行っており、卒業後は熊本県内外の老人保健施設等のみならず海外にてボランティア活動で訪問コンサートなどの音楽活動を行っている。今年の総会での演奏が三〇〇回目の記念演奏会となった。七月二日には、三〇〇回の記念コンサートを益城町文化会館で盛大に行われた。
浦田先輩からは、全国の各支部の歌を作成

していただけるということ、ご連絡をいただきたいということであった。各支部の活性化に向けてどうしご依頼をいただきたいと思う。ご依頼は宮陵会本部までご連絡をいただきたい。
二〇〇八年神奈川大学は創立八〇周年を迎えました。その記念すべき年に「八〇周年記念事業」の一環として計画されたのが「セブンサミッツ計画」です。

神奈川大学 学士山岳会支部

「セブンサミッツ計画」は西暦二〇〇〇年、ミレニアムの年に廃部となった山岳部が、OB達を中心に復活を掛けて繰り広げられた大イベント七大陸最高峰を目指す登山活動です。未だ大学山岳部で七大陸を挑戦したところはありませぬ。既に南アメリカ大陸最高峰・アコンカグア、ヨーロッパ大陸・エルブルース、アフリカ大陸・キリマンジエロ、北アメリカ大陸・デナリ、オーストラリア大陸・コジウスコを終え、余すところ二峰となりました。二〇〇九年には七大陸の中でも最高峰のチョモランマを目指します。皆様の暖かいご支援宜しくお願い申し上げます。

【神奈川大学チョモランマ遠征登山隊】

―二〇〇九遠征資金募金事務局―

〒二二一―八六八六
横浜市神奈川区六角橋三二七―一
神奈川大学工学部機械工作センター1気付
山岳部顧問 本田 広幸
電話 〇四五(四八二)五六六―



ロンブク僧院(5030m)から見たチョモランマ北面(夕景)